

令和 3 年 度
研 究 紀 要

小中学校におけるキャリア教育の在り方 に関する実践研究

〈盛岡市立見前南中学校区〉

盛岡市立見前南中学校

盛岡市立永井小学校

盛岡市立見前南小学校

令和 4 年 1 月

盛岡市教育研究所

目 次

I	盛岡市キャリア教育の推進について	1
II	基本的な考え方	2
III	委託研究の内容	3
	表紙（校名・主題等）	4
I	研究主題	5
II	主題設定の理由	5
III	研究のねらい	5
IV	研究の内容と方法	6
V	研究計画	6
VI	研究の実際	6
1	全体計画	7
2	年間指導計画（永井小6年・見南小6年・見南中1年）	8
3	アンケート質問項目	11
4	（1）永井小学校の実践	12
	（2）見前南小学校の実践	18
	（3）見前南中学校の実践	24
VII	研究の成果と課題	29

I 盛岡市キャリア教育の推進について

1 社会的な要請から

今日、少子高齢化社会の到来、雇用形態の多様化・流動化等、産業構造や就業構造の変化など、社会全体を通じた構造的な問題が存在していることで、学校から社会・職業への移行が円滑に行われていない現状が見られている。また、働くことの関心・意欲・態度、目的意識、責任感、意思等の未熟さやコミュニケーション能力、対人関係能力、基本的マナー等、職業人としての基本的な能力の低下、職業意識、職業観の未熟さなど「社会的・職業的自立」に向けて様々な課題も指摘されている。

このような中で、一人一人が「生きる力」を身に付け、明確な目的意識をもって日々の学校生活に取り組みながら、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、しっかりとした勤労観・職業観を形成し、激しい社会の変化の中で将来直面するであろう様々な課題に対応しつつ、社会人、職業人として、自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められている。

2 市内小中学校の状況

各小中学校においてキャリア教育推進の取組が進められており、教師がその成果を強く実感していることがうかがえる。

- ・キャリア教育の全体計画を作成し、計画的な実践が行われている。
- ・職場体験、外部人材の活用により、体験活動の充実が図られてきている。
- ・勤労観、職業観の育成に役立った。
- ・児童生徒の勤労観、職業観、コミュニケーション能力の育成に役立った。

しかし、その一方で、キャリア教育を進めるに当たり、以下の点が課題となっている。

- ・中学校区内の小学校との連携や、学年間の系統性を意識した指導計画の作成
- ・教育活動全体をキャリア発達の視点から見直し、有機的なつながりをもった指導

- ・キャリア教育推進のための校内組織や体制づくり
- ・体験活動における日数、時数の確保や受入先の開拓

3 盛岡市キャリア教育推進の方向性

盛岡市教育委員会は、学校教育の目標を「子どもたち一人一人に、自立して社会で生きていくための基礎を育む学校教育」と定め、その達成に向けて、「基礎的生活習慣・学習習慣の確立」を土台とし、「確かな学力（知）」「豊かな心（徳）」「たくましい体（体）」をバランスよく育成する教育に取り組んでいる。

これらの三つの力を引き出し、伸ばす「学ぶ意欲・目的」を中核に据え、自己の生き方を考える「先人教育」と「キャリア教育」を中心に、子どもたちに夢や目標をもたせる取組を推進している。また、市内小中学校への支援体制を整えるための基盤づくりを目的にして、平成 19 年度に学校、教育委員会及びその他の行政機関、企業等の関係機関・団体等で構成する「盛岡市キャリア教育推進協議会」を設立した。

また、平成 21 年度に「盛岡市キャリア教育推進プラン」を作成し、プランに掲げた施策の実施及び評価を行ってきた。

さらに、全市的なキャリア教育の充実をねらい、教育研究所研究員としてキャリア教育班 4 名を委嘱し、盛岡市の現状と推進協議会の協議を基に設定した重点（テーマ）に沿った実践を行うとともに、教育研究所発表会及び研究紀要の配布を通して全小中学校に紹介してきた。

キャリア教育の充実に向けての取組は、学校教育全体で行うことが大切であることを踏まえ、平成 26 年度から、小・中学校 2～3 校へ委託し、研究を進めている。

II 基本的な考え方

1 キャリア教育の定義

市内小・中学校においては、キャリア教育の定義について「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を

育てることを通して、キャリア発達を促す教育」（平成 23 年 1 月中教審答申）、「児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を学校全体で計画的・組織的にはぐくむこと」（平成 24 年 3 月岩手県教育委員会）と押さえている。そこで、盛岡市キャリア教育推進協議会では、キャリア教育のねらいについては、「社会人・職業人としての自立」と捉え、そのための具体的な能力を育むために、各校の特色を生かしたキャリア教育の実践を行っていくことを確認した。

2 社会人・職業人として自立するための具体的な能力について

中央教育審議会は、「4 領域 8 能力（文部科学省）」「人間力（内閣府）」「社会人基礎力（経済産業省）」「就職基礎能力（厚生労働省）」等の分析と再構築を行い、「基礎的・汎用的能力」とまとめた。

＜中央教育審議会＞

「4 領域 8 能力（文部科学省）」「人間力（内閣府）」「社会人基礎力（経産省）」「就職基礎能力（厚労省）」等を分析し再構築

基礎的・汎用的能力	人間関係形成・社会形成能力 (他者に働きかける力・リーダーシップ・チームワーク・他者に働きかける力 等)
	自己理解・自己管理能力 (自己の役割の理解・自己の動機付け・主体的行動・忍耐力・前向きに考える力・等)
	課題対応能力 (計画立案・実行力・評価・改善・情報の理解・選択・処理 等)
	キャリアプランニング能力 (将来設計・働くことの意義や役割の理解・行動と改善・多様性の理解 等)

また、岩手県教育委員会では、社会人・職業人として自立するための能力として、岩手の課題を踏まえた育成すべき能力を次のように示している。

＜いわてキャリア教育指針＞

社会人・職業人としての自立を図るために必要なことについて検討

総合生活力	確かな学力（学習意欲・態度、基礎学力、問題発見・解決能力、情報活用能力 など）
	豊かな心（人間関係形成能力、チームワーク、リーダーシップ、規範意識、向上心 など）
	健やかな体（基本的な生活習慣の確立、健康の増進、体力の向上、食育の増進 など）
人生設計力	社会を把握する能力（現代社会の理解、国際社会の理解 など）
	勤労観・職業観（働くことの意義と権利の理解、職業に関する知識・技能 など）
	将来設計力（人生観、先見性、進路情報活用能力、進路選択力、多様性の理解 など）

各校においては、中央教育審議会若しくは、岩手県教育委員会の示した具体的な能力をもとに、全体計画や年間指導計画を作成し、学習を進めていること、また、「総合生活力」及び「人生設計力」を構成する要素は、「基礎的・汎用的能力」を包括する関係であることから、本実践においては、児童生徒に育てたい具体的な能力については、各校の考え方に従って示している。

III 委託研究の内容と方法

1 研究の内容

本研究においては、盛岡市が抱えるキャリア教育推進の課題及びキャリア教育推進協議会の具体施策を基に、以下の点を研究内容として進めていく。

(1) キャリア教育全体計画の作成・改善

- ・小・中学校における各発達段階において身に付けるべき能力・態度の到達目標を設定する。
- ・個々の活動がどのような能力・態度の育成を図ろうとするものであるかを明確にする。

(2)教育課程への位置付けとその工夫

- ・各学校が、キャリア発達の支援という視点から教育課程の在り方を点検・改善していく。特に、各教科・領域におけるキャリア教育及び先人教育,復興教育,食育など他の教育内容との関連を図ることに留意する。
- ・児童生徒の発達段階を踏まえ、各校種が果たすべき役割や他校種における活動内容・方法・形態等を把握するなど、校種間の一貫性に留意する。

(3)職場体験等の体験活動等の充実

- ・体験活動等が一過性の行事にならないよう事前・事後の指導など、周到的準備と計画の基に実施する。その際、職場体験と各教科,領域における指導との効果的な関連についても検討し、実践する。

(4)多様な連携によるキャリア教育の推進

- ・それぞれの学校の特色を生かし、異校種間,家庭・保護者,地域・社会,事業所・産業界等,連携を図りながらキャリア教育を推進することに留意する。

2 研究主題について

各学校におけるキャリア教育の計画や実践を第一にしながらも、前述した盛岡市の課題及び推進協議会の今年度の重点【次頁】を参考に三校で検討し、次のような研究主題を設定し、研究を行った。

小中9年間を見通したキャリア教育
の在り方

～ 自己の目標や夢の実現に向け、自ら考え、
判断し、表現する児童生徒の育成 ～

令和3年度 盛岡市キャリア教育の推進に向けて

盛岡市キャリア教育推進協議会

盛岡市の学校教育目標

「子どもたち一人一人に、自立して社会で生きていくための基礎を育む」

キャリア教育が求められる背景

- ◆若者を取り巻く雇用状況の変化
 - ・就労形態や雇用形態の多様化
- ◆若者の変化
 - ・コミュニケーション能力、勤労意欲の不足
 - ・基本的生活習慣の未確立
 - ・明確な進路意識や目的意識をもたない進学
 - ・社会人としてのマナー不足
 - ・早期離職率の高さ
- ◆学校教育法及び小学校・中学校及び高等学校学習指導要領の改訂

市内小中学校における現状

- キャリア教育の全体計画を作成し、計画的な実施が行われている。
- 職場体験、キャリア・アドバイザーの活用など、事業所等と連携を図り、体験活動の充実が図られてきている。
- キャリア教育に関する校内研修については、実施率が低く、研修の機会の確保に課題が見られる。
- 職場体験の実施について、受け入れ企業等の確保に苦慮している学校が多い。

キャリア教育の評価(指標)

- 推進状況に係る評価を実施(※数値はR01)
- 1 指標「将来の夢や目標をもっている」児童生徒の割合
(肯定的な児童生徒：小85.9%、中74.2%)
 - 2 指標「中学校における職場体験(2日以上)を実施した学校の割合」
(2日以上の学校：66.7%)
 - 3 指標「今住んでいる地域の行事に参加している」児童生徒の割合
(肯定的な児童生徒：小84.8%、中76.9%)

キャリア教育でめざす子どもの姿(幼・小)

- 自分のよさに気づく
- 友達と協力する
- 進んで挨拶をする
- やりたいことに進んで取り組む
- 仕事や役割を最後までやり通す
- 親の仕事や地域の特色を知る
- 家や学校で自分の役割を自覚する
- 将来の夢や希望をもつ
- 自分の考えを話す

発達段階に応じ将来の夢やあこがれをもたせる

学 校

- 係活動
- 委員会活動
- 自然体験
- ボランティア活動
- 職場見学
- 福祉施設訪問
- 先人教育・復興教育との関連を図った体験活動

- 生徒会活動
- ボランティア活動
- 福祉施設訪問
- 職業調べ
- 職場体験活動
- 体験入学
- 先人教育・復興教育との関連を図った体験活動

キャリア教育でめざす子どもの姿(中・高)

- 自分らしさを生かす
- 他者を尊重する
- 時と場に応じた礼儀作法を身に付ける
- 個性や興味・関心等に基づいて進路を選択する
- 進路実現を目指して自己の課題を解決する
- 生き方や進路にかかわる情報を集める
- 勤労の意義や尊さ、苦勞を知る
- 様々な職業の社会的な役割を理解する
- 将来を設計し進路計画を立てる
- 獲得した技能等を相手に伝える

キャリア教育推進協議会の目的

関係機関が連携し、学校、企業、保護者、行政等の共通理解と協力の下で、小・中・高の発達段階に応じたキャリア教育の推進を図る。

推進方策

- 1 小・中・高等学校段階における組織的・系統的なキャリア教育の推進
- 2 教員の資質・能力の向上
- 3 企業等の協力を促す環境整備
- 4 学校、産業界、関係行政機関等の連携強化及び基盤整備
- 5 キャリア教育に対する社会全体の理解の促進

具体施策

(今年度の重点施策)

推進方策1・2

- ・「キャリア・パスポート」の活用を踏まえた、9年間を見通した組織的・系統的なキャリア教育を推進する。
- ・キャリア教育に関わる研修機会を提供し、各学校における推進体制を充実させる。

推進方策3・4

- 「職場体験受入先・キャリアアドバイザーリスト」の登録職種・事業所数の拡充を図りながら、学校のニーズに対応できる情報の提供を進める。

推進方策5

- 関係機関との連携を図りながら、地域・保護者の理解促進をめざす。

- 地区運動会やお祭り
- 伝統芸能伝承活動
- 地域一斉清掃活動
- 職業人による出前講座
- 自然体験活動の支援
- 職場体験の受入れ など

家 庭

基本的生活習慣や社会生活上の基礎基本を身に付ける

地 域・企 業

活動充実に向けて学校を支援する

盛岡市立永井小学校・見前南小学校・見前南中学校

【研究主題】

小中９年間を見通したキャリア教育の在り方

— 自己の目標や夢の実現に向け，自ら考え，判断し，表現する児童生徒の育成 —

I 研究主題

小中9年間を見通したキャリア教育の在り方

— 自己の目標や夢の実現に向け、自ら考え、判断し、表現する児童生徒の育成 —

II 主題設定の理由

1 教育の今日的課題から

ある調査での小学生がなりたい職業の1位は会社員だという。かつて、スポーツ選手、宇宙飛行士、パティシエなどが上位を占めた時代もある。なぜ、会社員なのか。専門家は「コロナ禍におけるテレワーク者の増加（を子供が見ていること）の影響」と分析して見せた。この2年間は、学校教育活動もウィズコロナを模索せざるを得ない難しい実態がある。

キャリアとは轍（わだち）のことで、先人の歩んできた道を参考にしつつ、自分の歩む道を作っていく過程そのものを指す。その際、社会に貢献する人材を育成することも私たち教育に携わる者の使命であることは言うまでもない。ところが、その社会自体が揺れ動く。だからこそ、常に、児童生徒たちにとって望ましい教育を見直す必要があり、岩手県学校教育指針にも重点項目の第一に人材の育成が掲げられ、キャリア教育の充実の意義が示されている。

こうした背景を踏まえ、見前南中学校区においても、各校の従来の教育課程を、9年間のキャリア教育の視点で見直し、授業そのものの充実化を図る必要があると考え、この主題を設定した。

2 児童生徒の実態から

見前南中学校区は、永井小学校、見前南小学校、見前南中学校の3校で連携しながら研究実践をしている。（見前小学校

から進学する生徒もあり、小中合唱交流など、4校でも連携している）

平成24・25年度には「小中一貫教育研究」の指定を受け、その際の研究として、小中で統一した授業形態づくりや9年間の教科指導カリキュラムを作成した。中でも「主体的に学ぶことのできる学習プロセス」を各授業で実践することにより、一定の成果があったと考えている。

文化活動にもスポーツにも意欲的に取り組む児童生徒たちである。特に地域活動は、小中学生が一緒に各地区の清掃活動や資源回収等に参加し、明朗快活、素直なところが見られる。しかし、令和元年度岩手県学習定着度状況調査の生徒質問紙調査の結果によると、県平均と比較したとき、「自分で計画を立てて学習すること」「課題以外の学習に取り組むこと」「わからないことを自主的に調べること」は、県平均を上回っているが、「将来の夢や目標を持つこと」「自分の考えを相手に伝えながら、少数意見にも耳を傾け、意見をまとめること」は、県平均を下回っていることが分かった。この傾向は、見前南中学校で、年2回実施しているQ U調査の進路項目ともほぼ一致している。

このような実態を、「中学校キャリア教育の手引き」（文部科学省）にあるアンケート項目に照らし合わせると、人間関係形成・社会形成能力やキャリアプランニング能力について、低い数値が出ている実態が見られる。

Ⅲ 研究のねらい

キャリア教育の視点で教育課程を見直し、9年間のカリキュラムを意識し、各教科の授業や特活・総合的な学習において、主体的で対話的な深い学びを実践していくことで、児童生徒たちの、自分らしく豊かに生きていくためのエンジンとなる総合生活力（主に教科や道德）、舵（かじ）となる人生設計力（主に特活や総合）を高める。

Ⅳ 研究の内容と方法

1 研究の内容

- (1) 9か年キャリア教育全体計画の作成
- (2) キャリア教育年間指導計画の作成
（特に小学校6年から中学校1年の吟味）
- (3) 9か年キャリアパスポートの活用
- (4) キャリア教育で育成する資質・能力
（総合生活力・人生設計力）を位置付けた授業および体験活動の充実

2 研究の方法

- (1) 文献研究
キャリア教育に関わる文献および先進校の実践資料をもとに、その在り方を研究する。
- (2) 教育課程の編成と授業実践研究
キャリア教育年間指導計画に基づき、キャリア教育の視点を位置付けた授業を実践し、その在り方を検討する。
- (3) 実践交流
3校の実践交流を通し、指導の在り方を研究する。
- (4) 調査研究
キャリア教育に関する児童生徒の意識調査を小中で行い、複数年経過を分析することで研究の効果を検証する。

Ⅴ 研究計画

【1年次】

- ・組織（校長部会・常任委員会・研究推進部会・小中交流部会）の設置と会議
- ・3校実践交流
- ・文献研究
- ・全体計画、年間指導計画（学年ごと）、キャリアパスポートの作成
- ・児童生徒の意識調査と分析
- ・授業等の実践

【2年次】

- ・常任委員会の開催
- ・授業等の実践
- ・3校実践交流
- ・全体計画、年間指導計画、キャリアパスポートの活用および改善
- ・児童生徒の意識調査と分析

Ⅵ 研究の実際

- 1 9か年キャリア教育全体計画の作成
岩手県教育委員会が示す具体の能力を踏まえ、3校の実態に合わせ、表に示した。その際に、学習活動の内容ではなく、そこで育てたい力のみを示すことで各校の実践のよさを失わないように配慮した。
- 2 キャリア教育年間指導計画の作成と改善
1年次は各校において、各教科・特活・総合・道德・行事を、学年ごとにまとめた。それを踏まえ、2年次は様式を統一し、特に小学校6年と中学校1年の指導計画の内容を吟味した。
- 3 キャリアパスポートの作成と活動
生徒・担任・家庭の三者がコメントすることで、生徒の意欲が高まるよう工夫した。

1. 見前南中学校区キャリア教育全体計画

見前南中学校区児童・生徒の実態

- ・行事やスポーツなどへの取り組みに意欲的である
- ・将来を見通し、学習に継続的に取り組むことが苦手である
- ・他とうまく交われない児童・生徒が増えている

盛岡市がキャリア教育でめざす子供の姿

見前南中学校区重点項目

(幼・小) 仕事や役割を最後までやり通す

(中・高) 進路実現を目指し自己の課題を解決する

目指す児童・生徒像

【当たり前なのが、当たり前前のできる生徒】

- ・心身を鍛え、厳しさを受け止められる児童・生徒
- ・明るく、思いやりのある児童・生徒
- ・進んで学び、深く考える児童・生徒
- ・やっではいけないことを絶対我慢する児童・生徒
- ・やりたくなくても頑張ってやり遂げる児童・生徒

いわてキャリア教育のねらい

児童生徒が自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路を選択し、**社会人・職業人として自立**するための能力を学校教育活動全体で計画的・組織的に育む。

評価

- キャリア教育アンケートの実施
- 全国学習状況調査・県学調の結果分析
- キャリアパスポートの活用

キャリア教育の目標 自己を正しく見つめ、個々の特性を生かしながら、主体的に進路を決定し、自己実現に意欲的に取り組む児童・生徒の育成								
			総合生活力			人生設計力		
			・基本的な生活習慣を身につけ、節度を守り、健康的な生活ができる。 ・社会のルールを守り、よりよい人間関係づくりができる。 ・確かな学力を身につけ、課題を解決することができる。			・自己理解を深めるとともに、将来の夢を持ち、それに向かって努力することができる。 ・働くことについての意義や職業・上級学校について理解することができる。		
		具体の要素 の重点 目標	健康・体力 ＜健康な生活＞	豊かな人間性 ＜自己理解と人間関係調整能力＞	確かな学力 ＜課題解決能力＞	将来設計力 ＜計画と実行力＞	勤労観・職業観 ＜働くことの意義＞	社会を把握する力 ＜社会への問題意識＞
見前南中学校	三学年	・現実社会についての理解と勤労観・職業観の育成を図る ・将来の目標に向かって努力することや学習することの大切さを理解させる ・カウンセリングやガイダンスを通じて、一人一人に応じた人生設計力を育成する	基本的な生活習慣を身に付け、健康的な生活を送ることができる	自己と他者の良さや個性を理解し、他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築くことができる	課題を発見・設定し、見通しをもって、自分の考えをもち、他者とも考えを交流しながら、課題を解決することができる	自分の生き方についてより深く考えるとともに、卒業後の具体的な進路計画を立て、努力することができる	社会の一員としての自覚をもち、働くことについて考えることができる	自らの視野を広げ、地域や社会にできることは何か考えることができる
	二学年			集団の一員としての自覚をもち、自分の果たすべき役割を理解し、責任をもって果たすことができる。		卒業後の進路について情報収集し、進路選択に向けての計画や方法を考えることができる	働くことの意義や職業についての理解を深めることができる	現代社会の課題についての、自らの視野を広げることができる
	一学年			自分のよさや個性を理解し、他者との違いに気付き、よさや気持ちを尊重することができる		将来の自分について考え、そのために必要なことや計画を立てることができる	働くことや生き方について理解を深めることができる	社会で起きているニュースに興味・関心を持つことができる
見前南小学校・永井小学校	高学年	・きまりを守ることや働くことの大切さを感じさせる ・好ましい人間関係の中で、自分を知り、長所を伸ばそうとする意識を持たせる	健康な体づくりのために、目標をもち、よりよい生活の仕方を考えることができる	自分や友達のよさを認め、相手の気持ちを理解しながら協力して物事に取り組むことができる	課題を設定し、解決のための方法を考え、友達と考えを交流しながら学習に取り組むことができる	自分の興味のあるものをもち、将来の夢や希望を膨らませることができる	様々な職業の様子についての理解を深め、働くことの意義や大切さに気付くことができる	自国と他国の伝統と文化を理解することができる
	中学年		健康な体づくりのために、目標をもって生活することができる	自分や友達のよさに気付き、協力して物事に取り組むことができる	課題を設定し、解決の見通しをもち、友達と考えを交流しながら学習に取り組むことができる	自分の好きなものや大切なものを持ち、将来の夢や希望をもつことができる	身の回りの仕事に関心をもつとともに、友達と協力しながら自らの仕事の責任を果たすことができる	地域社会の出来事を広い視野で考えることができる
	低学年		生活のリズムを整えるなど、基本的な生活習慣を身に付けることができる	基本的な生活の仕方を身に付け、友達と仲良く活動できる	基本的な学習の仕方を身に付け、意欲的に学習に取り組むことができる	将来の夢や希望をもつことができる	当番や係、身の回りの仕事の大切さに気付き、自分の役割を果たすことができる	地域の人々や身の周りの出来事に関心をもつことができる

キャリア教育を支える各教科・領域		キャリア教育を支える小中接続	
各教科 ○キャリア形成に必要な学力を身に付けさせる。 ・各教科の基礎基本の定着 ・主体的に学ぶ意欲の向上 ・情報活用能力・選択能力・問題解決能力の育成 ・言語活動の充実	道徳 ○思いやり、優しさ、礼儀、感謝をキーワードに人間関係形成能力の育成を図る。 ○勤労の尊さや意義を理解させるとともに、奉仕の心を育み、社会の発展に努めようとする態度を育成する。	児童生徒交流 ○小中挨拶運動 ○小中合唱交流 ○新入生体験入学・オリエンテーション	小中教員連携 ○まなびフェストの一貫性 ○三校授業研究会 ・9年間のカリキュラム ・学習規律の一貫性確立 ○小中継続したキャリアパスポート ○特別支援教育連携 ○小中連絡会 ○家庭との協働 ・家庭学習とSNSルール取り組み
	総合的な学習の時間 ○将来設計能力の育成 ・望ましい職業観・勤労観を養うために様々な生き方に触れさせ、将来に向けて自分の生き方を真剣に考えさせる。 ・探究的な学習の一環として、職場体験学習やボランティア、職業講話、現代社会についての課題研究等を行い、自己の生き方を考えさせる。		

2. キャリア教育年間指導計画（永井小学校 6年）

	月	目標	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	通年
総合生活力	健康・体力 ＜健康的な生活＞	健康な体づくりのために、目標をもち、よりよい生活の仕方考えることができる	【家庭】 「生活時間をマネジメント」		【体育】 病気の予防				【学活】 「生活のリズムを見直そう」	【体育】 喫煙・飲酒・薬物乱用の害と健康 【学活】 情報モラル					朝マラソン（業間マラソン） 縄跳び
	豊かな人間性 ＜自己理解と人間関係調整能力＞	自分や友達のよさを認め、相手の気持ちを理解しながら協力して物事に取り組むことができる	【特別の教科道徳】 「自分らしく」（個性の伸長）	【学校行事】 運動会（係活動）		【特別の教科道徳】 「差し出し続けた大きな手」（相互理解）			【学校行事】 学習発表会 【国語】 「みんなで楽しく過ごすには」 【学活】 「男女の協力」	【児童会】 遊び集会			【国語】 「いま、私は、ぼくは」		縦割り清掃（9～12月）
	確かな学力 ＜課題解決能力＞	課題を設定し、解決のための方法を考え、友達と考えを交流しながら学習に取り組むことができる		【なるほどタイム】いわてのたからを見つけよう	【国語】 「わたしたちにできること」			【なるほどタイム】 「先人に学ぼう」							「関わりながら学びを深める児童の育成～協働的な学習活動を通して」（研究主題）
人生設計力	将来設計力 ＜計画と実行力＞	自分の興味のあるものを持ち、将来の夢や希望を膨らませることができる	【学活】 「6年生になって」					【なるほどタイム】 「先人に学ぼう」				【なるほどタイム】 「将来の自分を探ろう」（ドリームマップ）		【学活】 「もうすぐ中学生」	
	勤労観・職業観 ＜働くことの意義＞	様々な職業の様子についての理解を深め、働くことの意義や大切さに気付くことができる													委員会活動・係活動当番活動 各種ボランティア
	社会を把握する力 ＜社会への問題意識＞	自国と他国の伝統と文化を理解することができる	【社会】ともに生きる暮らしと政治		【なるほどタイム】いわてのたからを見つけよう	【特別の教科道徳】 「米作りがアフリカを救う」（交際理解・国際親善）					【家庭】 「ともに生きる地域での生活」		【社会】 ＜世界の中の日本＞		
キャリアパスポート			「1年間のめあて」			振り返り記入					振り返り記入			1年間の振り返り記入	

キャリア教育年間指導計画（見前南小学校 6年）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	通年
総合生活力	健康・体力 ＜健康な生活＞	【家庭】 生活時間をマネジメント							【家庭】 献立を工夫して					南小サーキット
	豊かな人間性 ＜自己理解と人間関係調整能力＞	【特活】 たてわり班活動に向けて	【音楽】 歌声をひびかせて心をつなげよう	【道徳】 温かい行為が生まれるとき			【道徳】 ロレンゾの友達	【音楽】 いろいろな和音のひびきを感じ取ろう	【道徳】 はじめてのアンカー	【音楽】 詩と音楽の関わりを味わおう	【道徳】 最後のおくりもの	【音楽】 音楽で思いを伝えよう	【特活】 卒業式に向けての意識を高めよう	あいさつ、歩き方、聞き方、話し方、話し合い方 たてわり班活動
	確かな学力 ＜課題解決能力＞	【国語】 つないで、つないで、一つのお話		【社会】 日本の歴史				【国語】 みんなで楽しく過ごすために			【国語】 メディアと人間関係	【国語】 海の命		
人生設計力	将来設計力 ＜計画と実行力＞		【総合】 わたしたちにできること				【総合】 修学旅行へレッツゴー		【特活】 学習の見直しをしよう		【家庭】 生活の課題と実践			
	勤労観・職業観 ＜働くことの意義＞	【特活】 委員会活動の準備をしよう	【道徳】 マザー・テレサ									【総合】 ドリームマップ 夢を見つめよう		日直、給食当番係活動・班活動 委員会活動
	社会を把握する力 ＜社会への問題意識＞		【社会】 ともに生きるくらしと政治				【総合】 私たちにできること				【社会】 世界の中の日本		【理科】 「私の行動宣言書」	
キャリアパスポート		一学期のめあて	運動会のめあて ふり取り記入		ふり取り記入	2学期のめあて	球技大会のめあて ふり取り記入	修学旅行のめあて ふり取り記入		ふり取り記入	3学期のめあて		1年間のふりかえり	

キャリア教育年間指導計画（見前南中学校 1年）

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	通年
総合生活力	健康・体力 ＜健康的な生活＞	体育祭に向けて(体育・総合)	体育祭の取り組み(体育・総合)	食事の役割と食習慣(家庭) 保健(保健体育)	中学生に必要な栄養素を潤す食事(家庭)	日常食の調理(家庭)	日常食の調理(肉・魚) 心の健康とストレス(特別活動)			合同トレーニング(部活動)	保健(保健体育) 合同トレーニング(部活動)	合同トレーニング(部活動)		部活動 連絡ノート・担任による健康観察と検温表
	豊かな人間性 ＜自己理解と人間関係調整能力＞	野原は歌う(国語) シンジュン(国語) 美術って何だろう？ 春を感じる(美術) 自分の成長と家族 家庭生活(家庭) 挨拶しますか、しませんか(道徳)	思いを込めた合唱表現(音楽) 自分の成長と家族 家庭生活(家庭) 体育祭の取り組み(特活) 黒い弁当・バスと赤ちゃん(道徳)	あるピエロの物語・裏庭での出来事(道徳)	混声合唱の響き(音楽) ネット将棋(道徳)	大人になれなかった弟たちに(国語) 混声合唱の響き(音楽) オーストラリアのマス川・金色の稲穂(道徳)	大阿蘇(国語) 混声合唱の響き(音楽) 保健(体育) 心と体の授業(特活) あなたに・たとえばくに明日はなくても・捨て犬未来(道徳)	古典作品(国語) 保健(体育) 音楽祭の取り組み(特活) ふと目の前に 森繁久彌・ネパールのビール(道徳)	解決の評価と改善(技術) 武道(体育) 吾一と京造(道徳)	少年の日の思い出(国語) 私の花私の種・色に込めた感情シャガール鑑賞(美術) 傘の下・ロコソラーレメダルへの挑戦(道徳)	心通う合唱(音楽)	さくらはなびら(国語)	朝読書 新聞学習	
	確かな学力 ＜課題解決能力＞	朝のリレー(国語) 正負の数(数学) 明るい歌声作り(音楽)	大根は大きな根？ ちよつと立ち止まって(国語) 正負の数(数学) 身の回りの物質(理科) 私の一文字(美術) 材料を加工するための技術(技術) 球技・体育理論(体育)	文字と式(数学) 原始古代の日本と世界(社会) いろいろな生物(理科) 鑑賞「春」(音楽) ロゴデザイン(美術) 材料加工(技術) 球技(体育)	文字と式・方程式(数学) Let's enjoy Japanese Culture(英語) 表現の工夫「夏の思い出」「荒城の月」(音楽) 色彩(美術) 水泳(体育)	星の花が降るころに(国語) 方程式(数学) 原始古代の日本と世界(社会) 世界(社会) 課題解決・制作(技術) 陸上(体育)	方程式 原始古代の日本と世界(社会) オリジナル模様(美術) 器械運動(体育)	蓬萊の玉の枝(国語) 鑑賞「魔王」オリジナル模様(美術) 日常着の手入れと保管(家庭) 器械運動(体育)	故事成語(国語) 平面図形(数学) Research on Australia(英語) 鑑賞「越天楽」水彩基礎(美術) 生活を豊かにするものの制作(家庭) 球技(体育)	平面・空間図形(数学) 中世の日本と世界(社会) 日本の民謡(音楽) 水彩基礎(美術) 制作(家庭)	空間図形(数学) A trip to～(英語) 光音力の現象(理科) 「六段の調べ」(音楽) 球技(体育)	中世の日本と世界(社会) 近世の日本と世界(社会) 粘土基礎(美術) 生物育成(技術) 球技(体育)	近世の日本と世界(社会) 光音力の現象(理科) 生物育成(技術)	一単位時間の学習プロセスの意識付け・ユニバーサルデザイン
人生設計力	将来設計力 ＜計画と実行力＞	身の回りの物質(理科) 学級開き・学級目標・組織・班活動等の設定と実践(特活) 生徒総会に向けて(特活)	釣りざおの思い出・日本一の先生富田小一郎(道徳)	あなたの知らない私(英語) テスト学習計画(特活) 日曜日の朝に(道徳)	夏休み計画(特活)	生きている地球(理科) オリジナル模様(美術) 問題解決の手順(技術) 音楽祭の目標・組織の設定と実践(音楽・特活)	比例と反比例(数学) 音楽祭取り組み(音楽・特活) テスト学習計画(特活) いっぱい生きる 全盲の中学校教師(道徳)	比例と反比例(数学) 生徒会役員選挙の取り組み(特活) 小中合唱交流の取り組み(音楽・特活)	身の回りの物質(理科) 後期生徒総会に向けて(特活) 後期学級組織(特活) テスト学習計画(特活)	冬休み計画(特活) イチローの軌跡(道徳)	住まいの働きと心地よさ(家庭)	テスト学習計画(特活) 安全な住まいで安全な暮らし(家庭) ゲームから広がる可能性(道徳)	持続可能な住生活(家庭) 春休み計画(特活)	各種課題解決的な学習
	勤労観・職業観 ＜働くことの意義＞	生活や社会の中の音楽(音楽) 先人学習(総合) 掃除の神様がおしえてくれたこと(道徳)	探求旅行(総合)	探求旅行とまとめ(総合)				課題の解決・作品の制作(技術)	日本の心と技(道徳)	認められたグラブ(道徳)				朝読書(盛岡の先人)
	社会を把握する力 ＜社会への問題意識＞	世界の姿(社会) 技術の役割・見方・環境	世界各地の人々の生活と環境(社会)	うわさで決めるの？(道徳)	世界の諸地域・日本の姿(社会) 世界に向けたメッセージ福田繁雄鑑賞(美術) 真の国際人 加納治五郎(道徳)	トキのいる里をもう一度(道徳)	世界の諸地域(社会) Junior Safety Patrol(英語)	世界の諸地域(社会) The Way to School(英語) 町内会デビュー・公平とはなんだろう(道徳)	世界の諸地域(社会)	材料加工の技術と社会(技術)	資料の分析と活用(数学) 世界の諸地域・調査(社会) 生物育成と私たちの生活(技術)	エルトゥールル号の遭難・壊れた掲示板(道徳)		地区活動・ボランティア活動
キャリアパスポート		中学生になって キャリアパス記入開始	体育祭の取り組み		1学期を振り返って			音楽祭の振り返り		2学期の振り返り			1年間の振り返り	

3. キャリア教育アンケート 質問項目（対応表）

4：いつもしている 3：ときどきしている 2：あまりしていない 1：ほとんどしていない

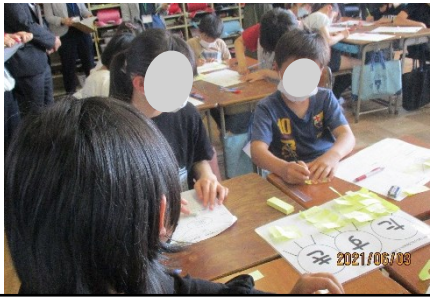
小学校低学年		小学校中高学年		中学校	
1	はっきりあいさつをしたり、ていねいなことばづかいをしていますか。	1	時と場に応じたあいさつや言葉づかいをしていますか。	1	友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしていますか。
2	ルール（きまり）やマナーをまもって、せいかつしていますか。	2	学校や家でのルール（インターネット等での約束もふくむ）や社会のマナー（他人に迷惑をかけない）を守って生活していますか。		
3	あいてのきもちをかんがえてきたり、はなしたりしていますか。	3	友達が自分の考えや行動と違うときに、相手の気持ちを考えて話したり、聞いたりしていますか。		
4	じぶんのきもちやかんがえが、あいてにわかるようにはなしていますか。	4	自分の気持ちや考えが、相手に伝わるように話していますか。	2	相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。
5	ともだちと力をあわせて、かかりやとうばんのしごとをしていますか。	5	係や当番の仕事を公平に分担したり手伝ったりするなど、チームワークを考えて活動していますか。	3	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動していますか。
6	じぶんにはいいところがあるとおもいますか。	6	自分にはいいところがあると思いますか。	4	自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしていますか。
7	しなければならぬことを、したくないときでもがまんしてとりくんでいますか。	7	やらなければならぬ事を、やりたくない時でもがまんして取り組むことができますか。	5	気持ちが沈んでいる時や、あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしていますか。
8	にがてなことにも、すすんでとりくんでいますか。	8	苦手なことに、進んで取り組もうとしていますか。	6	不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしていますか。
9	わからないことがあったときは、きいたりしらべたりしていますか。	9	分からないことやもっと知りたいことがあった時、人に聞いたり調べたりしていますか。	7	分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで取り組もうとしていますか。
10	まちがえたりしっぱいしたりしたあと、おなじことをくりかえさないためにどうしたらいいか、かんがえていますか。	10	間違えたり失敗したりした後、同じ過ちを繰り返さないために、どうすればいいか考えていますか。	8	何か問題が起きた時、次に同じような問題が起らないようにするために、何をすればよいか考えていますか。
11	けいかくをたてて、ものごとにとりくんでいますか。	11	何かをしようとする時、見通しをもって計画をたてて進めていますか。	9	何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしていますか。
12	べんきょうやかつどうが、じぶんのしょうらいにやくだつとかんがえて、せいかつしていますか。	12	今、学校で勉強したり係活動をしたりしていることが、自分の将来に役に立つと考えて生活していますか。	10	学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと将来とのつながりを考えたりしていますか。
13	ゆめやむくひょうにむかってどりよくしていますか。	13	夢や目標に向かって、今やるべき事を考えて努力していますか。	11	自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えていますか。
14	しゃかいのできごと（ニュース）にかんしんをもってせいかつしていますか。	14	ニュースに関心を持っていますか。	12	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。
		15	夢や目標に向かうために、健康な体づくりに努めていますか。		

4 (1) 永井小学校の実践

ア 授業実践 実践例 1

5 学年	学級活動	未来につなぐ1年間　もっと今より！輝く自分
1　児童の実態	・自らの課題を見つけたり，そのために努力したりする姿があまり見られず，進んで自治的な生活をしているとは言い難い。	
2　単元のねらい	・自分のよいところに気付き，進んで学校生活の様々な活動に取り組む態度を育てる。 ・学年目標達成に向けて，自分ができることについて考え，意思決定する姿勢を育てる。	
3　めざす児童の姿	・自分のよさを生かし，責任ある行動をすることができるとともに，目標をもつ大切さに気付き，粘り強く努力することができる。	
4　この単元でつきたいキャリア教育としての力	・自分や友達のよさを認め，相手の気持ちを理解しながら協力して物事に取り組むことができる。	
(総合生活力：自己理解と人間関係調整能力)		

5 単元の内容（全4時間 本時1／4）

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際（資料・記録）
導入	○5年生への思いをふり返ったり，アンケート結果を見たりして，実態を把握する。 自分のよさを見つけ、『た・す・き』のために，自分ができることを考えよう。	（手）事前のアンケート結果を提示する。	
展開	○自分のよいところを「学習」「生活」「その他」に分けて書き出す。 ○他者の5年生への思いを知り，感想を交流する。 ○自分のよさが，どの場で発揮できそうか，グループで話し合う。	（手）思考ツールとしてYチャートを用いて考えさせる。 （手）校長先生・他学年へのインタビュー動画を見せる。 【自己理解と人間関係調整力】 ・自分のよいところに気付き，進んで学校生活の様々な活動に取り組もうとする。 ・学年目標達成に向けて，自分ができることについて考え，意思決定することができる。	思考ツールを利用して，意思決定する 【児童の感想から】 ・自分にはたくさんいいところがあることに気付いた。 ・みんなが一つの目標に向かって毎日がんばっているのがよかった。これで終わりではなく，続けていきたい。 ・友達に直接いいところを教えてもらって自信がついた。みんなで大きなめあてに向かっていくのが楽しい。
まとめ	○自分が取り組むことを決める。	（手）思考ツールとしてくらげチャートを用いて考えさせる。	

6 キャリア教育の視点からの児童の変容と考察

取組期間が終わっても，意識して生活をする姿が見られた。学級での話し合いがあると，学年目標に立ち返って考えるなど，目標が身近で学級のよりどころとなっている。自分のよさを見つけるために，教師も含めた日頃の認め合う活動が必要である。また，個人から集団に，集団から個人へと関わりながら力をつけていくように，キャリア教育の視点から単元を組んで指導していくことで態度・能力を育成できると考える。

実践例 2

あおぞら（特支・知的）	生活単元	単元名：草木染をしよう
1 児童の実態	・畑で野菜を育てることに興味をもち、意欲的に観察・世話をしているが、学習全体への意欲が低く、集中力が続かない子が多い。	
2 単元のねらい	・育ててきた野菜収穫後の茎や葉を活用した活動に、発達段階に応じた興味・関心を持ち、各教科で学んだ知識・技能等を使いながら、意欲的・継続的に取り組む態度を育てる。	
3 めざす児童の姿	・発達段階に応じた興味・関心をもったつぶやきをしたり、その思いをシートに記録したりしている。（算数・理科・生活等の視点から） ・活動に意欲をもって取り組むことができる。	
4 この単元でつきたいキャリア教育としての力	・基本的な学習の仕方を身に付け、意欲的に学習に取り組むことができる。 （総合生活力：課題解決能力）	

5 単元の内容（全15時間 本時4／15）

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際（資料・記録）
導入	○本時の学習内容の見通しを持ち、課題を確認する。 ・草木の重さを量る。 ・豆乳に浸ける。 ・道具を準備する。	（手）前回の玉ねぎ染めのハンカチを見せ、準備したことを思い起こせるようにする。	
展開	草木染めのじゅんぴをしよう。 ○使う草木の分量を計算する。 ・ハンカチ1枚は30g ・その2倍（2つ分）以上の重さの葉や茎が必要 ・1グループ3人分なので180g。 ○秤で量る。 ・オクラ、エダマメの2つのグループに分かれる。 ○染める下準備をする。 ・ハンカチに名前を書く。 ・豆乳に浸ける。	（手）学年に応じたワークシートで計算させる。時間を十分にとる。 2年：たし算，4年：かけ算，6年：比 【課題解決能力】 ・自分のできる計算を使って、諦めずに計算に取り組もうとする。 （手）学習が成立しやすいグループ編成。量り取りたい目盛に印をつける。 【課題解決能力】 ・秤を優しく扱う等、道具の使い方を体験し、グループの友達と交流しながら活動に取り組むことができる。 【課題解決能力】 ・順番を守る，ごみを捨てる，終わったら手を洗う等，生活を支える技能を身に付ける。	ハンカチ1枚 30g ↓ ハンカチ3枚 □g ハンカチの重さの □ ハンカチ3枚は □ × 3 = □ □ + □ + □ = □g 個に応じたワークシート グループで葉っぱを量る。 【児童の発言・振り返りシートから】 ・エダマメの葉っぱを180gにするのがむずかしかった。 ・エダマメを袋に入れるのが多かったのが大変だった。 ・オクラの葉っぱは、はじめてだったが、大きかった。
まとめ	○学習のまとめをする。 ・振り返りを記録し、発表する。	（手）全員に発表させ、その子なりの思いを大事にする。	

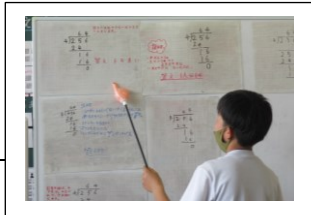
6 キャリア教育の視点からの児童の変容と考察

見通しをもたせた後、児童の集中力に合わせて、学習内容を10分程度のサイクルで行ったり、意図的グループでの活動、個に応じた手だてをこまめに行ったりしたことで、最後まで意欲をもって学習することができた。実際に染める際には、授業時間外でも準備を進んで手伝う姿があり、また、予想とは違う色に染まることへの驚きを言葉にする子もいた。その子なりの気づきを、各教科の知識理解と合わせ、高めていくことが今後の学習意欲の継続につながると考える。そのための日々の学習における言語活動の充実が、今後の課題である。
--

実践例 3

4 学年	算数	単元名 わり算の筆算（１）
1 児童の実態	・算数が好きで積極的に関わる児童と、質問もできずに消極的に関わる児童がいるため、内容の理解には差がある。	
2 単元のねらい	・ 2～3 位数を 1 位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようになる。 ・ 数量の関係に着目して、除法計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりする力を養うとともに、既習の基本的な計算を基に考えた過程を振り返り、今後の学習に生かそうとする態度を養う。	
3 めざす児童の姿	・ 3 位数÷ 1 位数＝ 2 位数（首位に商がたたない）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	
4 この単元でつきたいキャリア教育としての力	・ 課題に向かい、既習の図などを用いて答えを出す方法を考えることができる。 ・ 自分や友だちのよさに気づき、協力して物事に取り組むことができる。 （総合生活力：課題解決能力・人間関係調整能力）	

5 単元の内容（全 11 時間 本時 8 / 11）

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際（資料・記録）
導 入	○問題場面をとらえ、立式する。 ・立式し、相違点を見つける。 2 5 6 ÷ 4 の筆算のしかたを考えよう。		 発表して交流している場面
展 開	○ 2 5 6 ÷ 4 の筆算の仕方を考える。 ・ 答えを出す方法を考える。 ・ 束の図を使って、計算の仕方を確かめる。 ○ グループで筆算の仕方を考えホワイトボードにまとめる。 ・ 百の位はわり算ができない。 ・ 2 ÷ 4 はできないから、百の位に商はたたない。 ○ 筆算の仕方を、上記の計算の仕方と関連づけて考える。	【課題解決能力】 ・ 束の図を使い、計算の仕方について確かめ答えを出す方法を考えることができる。 （手）個別に考えたものをグループの考えとしてまとめ、ホワイトボードに書かせる。 【人間関係形成能力】 ・ グループ内で意見交換しながら、分からないことを質問したり、相手の考えを理解したりしてコミュニケーション能力を高めることができる。	説明を聞いてまとめている場面 
ま と め	○ 筆算の仕方を整理しまとめる。 ・ 本時の学習をふり返る。 ○ 適用問題を解く。	（手）考えを全体で交流しながら深められるように進める。 （手）友だちとの関わりについて振り返りをさせる。	<子どものふり返りから> ・ 友だちの説明を聞いて計算の仕方が分かった。 ・ 最初はどやって計算を書けばいいのかが分からなかったけど、みんなの意見を聞いた分かった。 ・ 最初は 2 ÷ 4 ができないからどうやるのかな？と思ったけど、グループでやったらできたのでよかったです。

6 キャリア教育の視点からの児童の変容と考察

既習の図などを用いて答えを出す方法で自力解決したうえで、グループ学習を行った。グループ内で意見交換を行う中で、計算の仕方について話し合い、さらに学級全体で交流することで新しい計算の仕方を導き出した。友だちと考えを交流しながら学習に取り組むことで、友だちの考えのよさに気づき、よりよい方法を見つけられた。
--

実践例 4

1 学年	道徳	単元名：よりよい学校生活，集団生活の充実
1 児童の実態	・小学校生活に慣れ，友達と仲良く遊んだり，係の仕事に意欲的に取組んだりする児童が多い。 一方で，自己中心的な行動や自分の行動が集団に与える影響に気づいていない児童もいる。	
2 単元のねらい	・楽しい学級や学校生活を送るために，集団の一員として，自分もみんなのためにできることを進んでする意欲や態度を養う。	
3 めざす児童の姿	・「楽しい学校生活」にするために，自分にできることを考えることができる。	
4 この単元でつきたいキャリア教育としての力	・自分や友達のよさに気づき，それぞれの特性を伸ばし，学び合い助け合おうとする態度や，よりよく生きようとする意欲。	
(総合生活力；人間関係調整能力)		

5 単元の内容（全1時間）

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際（資料・記録）
導入	○資料に関心を持つ。 ・入学する前の心配なめぐの気持ちを考える。 ・入学したころの自分の気持ちや学級の様子について振り返る。 ○学習課題を確認する。 ・範読を聞き，話の全体をつかむ。	(手) 挿絵を使う。 (手) めぐと自分とを重ねられるようにした。	・主人公めぐの視点で考えていく。  入学式の写真を掲示↑
展開	○見通しをもつ。 ・毎日楽しくなった理由を考える。 ・掃除するめぐの行動理由を考える。 ・めぐのふわっとした気持ちの理由を考える。 ○考えを発表し，交流する。 ・友達にしてもらってうれしかったことを考える。 ・めぐのように，学校をもっと好きになるための方法を考える。 ・クラスみんなが楽しく生活するために，自分にできることを考える。	(手) 参考に児童の写真を掲示し，紹介する。 【人間関係調整能力】 ・みんなのために，自分にできることをすすんで行っていることにも触れる。 【人間関係調整能力】 ・助け合おうとする態度や，より楽しく生活できるような態度を，友達の良さから学び，出し合う。	・写真を紹介することで，行為の良さを認めたり，実践への意欲を高めたりした。 
まとめ	○学習の振り返りをし，行為への意欲化をはかる。 ・課題の振り返りをする。	(手) 記述が難しい時期のため，項目に名前を貼らせ，考えの発表とした。	

6 キャリア教育の視点からの児童の変容と考察

みんなが楽しい学校生活をおくれるよう，自分にできることをする児童が増え（給食の後もゴミ拾いをする児童など），みんなのためにやっていた行為を認識できるようになってきた。

ア 授業実践について（12 頁～15 頁参照）

本校のキャリア教育の目標は「自他のよさを見つめ、夢や希望をもって目標を達成していこうとする態度・能力を育てる」である。これは、今年度の主題研究「関わりながら学びを深める児童の育成」の中心的な手立てである「協働的な学習活動」で目指す児童の姿と共通していると捉え、キャリア教育の視点に立った授業づくりや教育活動を行うことが、よりよい人間関係づくりや授業を支える集団づくりにつながるものであり、教科のねらいを達成することがキャリア教育における「確かな学力」（総合生活力）を育成すると考え、授業を実践した。

イ 縦割り（異年齢集団）での活動

本校では、「チームワーク・リーダーシップ・フォロワーシップ」を育てることを主なねらいとして、1年生から6年生の異年齢集団（令和3年度は34グループ）での活動を行っている。

（ア） 縦割り班清掃

清掃活動を通して、高学年のリーダーとしての意識を育てることをねらいとしている。日常の学級での生活では目立たない児童が下級生の世話をよくしていたり、丁寧に準備していたりする姿などから、自己有用感や自己肯定感を高め、コミュニケーション能力を育てる場となっているといえる。

（イ） なかよし集会（1～3年）

3年生が遊びを考え、中心となることでリーダーとなることの素地を養う活動である。1・2年生は、3年生に協力すること、友達の輪を広げることをねらいとして

いる。

（ウ） 遊び集会

6年生が様々な遊びを考え、1年生から6年生までが一緒に遊ぶことにより、集団の中でのルールを守る気持ちや相手をいたわる気持ちを育てることをねらいとして行われている。

ウ 「ドリームマップ」（6年）

「将来設計力」につながるものとして、6学年3学期の「なるほどタイム」（総合的な学習の時間）で「ドリームマップ授業」を実施している。

自分では気付かない自分のよさに周囲のサポートで気付くことで自己肯定感を高めたり、作成したマップをもとに、将来について自己表現する経験を一緒にすることで他者理解を深めたりする活動である。また、将来の夢を職業としてだけ捉えるのではなく、人としての在り方・生き方を含めて考える機会にもなっている。



<令和2年度「ドリームマップ」より>

- 「24 オ…患者さんを笑顔にする薬剤師」
- 「30 オ…笑顔で毎日楽しく過ごすパティシエ」
- 「20 オ…自分の意見をしっかりと言える人になる」
- 「23 オ…お客さんにやさしい接客対応ができるコンビニ店員」

「21 才…だれかを笑顔にしたり助けたりして役にたつ仕事」

エ キャリアパスポートの活用

昨年度より、盛岡市教育委員会提示の様式でのキャリアパスポートの活用を始めている。各学期の始まりと終わり、行事の前後を中心にして「なりたい自分」という視点からめあてを立てたり、振り返ったりすることを通して自分自身や周囲の環境を見つめ直す機会となっている。

オ アンケートの比較

中学校区3校共通で、キャリア教育に関する児童生徒の意識について発達段階に応じた表現で以下の内容を調査した。

- ① 挨拶
- ② ルール・マナー
- ③ 他者の個性を理解する能力
- ④ コミュニケーション能力
- ⑤ チームワーク・リーダーシップ
- ⑥ 自己肯定感
- ⑦ 忍耐力
- ⑧ 自主性・克己心
- ⑨ 情報収集能力
- ⑩ 問題解決力
- ⑪ 計画立案
- ⑫ 勤労観
- ⑬ 将来設計
- ⑭ 社会の理解
- ⑮ 健康・体力

15 項目のうち、本校児童の実態から課題として捉えている7項目の経年比較した結果、6年生では「③他者の個性の理解」の

肯定的回答が94%、「⑤チームワーク・リーダーシップ」が97%と高くなっている。キャリア教育を含む教育活動において、児童の間違いを認める雰囲気の中での活動や指導及び縦割りでの活動など人間関係の形成を重点としてきた成果と考える。

一方、「⑥自己肯定感」や「⑧自主性・克己心」については、学年が進むにつれて肯定的回答の割合が増え、6年生の「自己肯定感」で33%、「自主性・克己心」で32%と、ともに30%を超えており、その要因を明らかにする必要がある。

カ 成果と課題

【成果】

- ・教科・領域等でキャリア教育の視点から身に付けたい力を明確にし、協働的な学習活動を手立てとして実践することで、児童の考えを広げることができた。
- ・縦割り班での活動など継続して取り組んできた教育活動の価値がキャリア教育の視点から明らかにできた。

【課題】

- ・各活動におけるねらいを児童と共有することや、児童の姿を価値付けることが十分とは言えず、「自己肯定感」など本校の課題が改善されるまでには至っていない。

<参考>

- ・「主体的に生きる力を育む『ドリームマップ授業』特定非営利活動法人 こどものみらいプロジェクト ゆめドリ

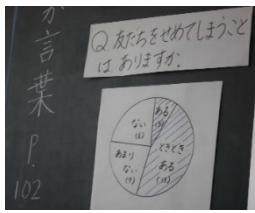
(2) 見前南小学校の実践

ア 授業実践 実践例 1

3 学年	道徳	単元名 言われたときの心「ぽかぽか言葉」(親切, 思いやり)
------	----	--------------------------------

1 児童の実態	児童の多くは, 思いやりの心をもつことは大切であると考えており, 優しい学級にしたいと願っているが, 実際には, 相手の気持ちを考えずに言葉を発してトラブルになることが少なくない。
2 単元のねらい	動作化や役割を演じるといった, 体験的に理解する活動を通して, 言葉には人をうれしい気持ちにさせる言葉と, 反対に傷つけてしまう言葉があることを理解し, 相手の気持ちを考えて適切に使うとする態度を養う。
3 めざす児童の姿	自分と立場が異なる人の状況や気持ちを思いやり, 温かい友達関係を築くにはどんな言葉を使ったらよいかを考えて言葉を適切に使うとする子ども
4 この単元でつきたいキャリア教育としての力	(総合生活力: 人間関係形成能力) 違いを認め合い, みんなと共に生きていく力

5 本時の内容

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際 (資料・記録)
導 入	1 学習課題を設定する。 (1)言葉についての想起 (2)アンケート結果と本時の課題の把握 友だちにかける言葉について考えよう		アンケートから本時の課題把握 
展 開	2 教材文を読んで話し合う。 (1)とげとげ言葉を言われたしおりさんの気持ちを考える。 (2)ぽかぽか言葉を使って役割演技をし, 感想を交流し合う。 (3)ぽかぽか言葉ととげとげ言葉について考える。	【豊かな心】 ・相手を思いやる言葉が人の心を温かくすることに気付かせ, ぽかぽか言葉のよさについて理解させる。 ・ぽかぽか言葉ととげとげ言葉の違いについて考えさせる。 ・友達と仲良くするためにどんなことが大切かを考える。	話し合い後, 自分の考えを整理する 
ま と め	3 学習したことを基に, 自分の生活を考える。		

6 キャリア教育の視点からの児童の変容と考察

アンケートからの課題把握や登場人物の立場や気持ちを考えたり話し合ったりする活動を通して, 児童はそれぞれ登場人物に自分自身を重ねて価値について考えていた。中心場面の話し合いで, アンケートも活用して頭では分かっているが言うてしまう弱さにもっと共感させられると, 建前でなく本音の話し合いになり, 価値理解を深めることができたであろう。

実践例 2

5 学年	特別活動	単元名 「充実させよう家庭学習」
1 児童の実態	家庭学習に意欲的に取り組むことができる児童がいる一方、基本的な家庭学習に毎日取り組むことができていない児童もいる。一人勉強については、内容を吟味し丁寧に取り組んでいる児童がいるのに対し、漢字練習や計算練習でも空白が目立ち、ただ指定されたページ数の学習をするだけになってしまっている児童がいる。家庭学習への取り組み方に関する課題はそれぞれである。	
2 本時のねらい	充実した家庭学習に向けて、自分に合った具体的な取り組み方法を話し合いの中から意思決定し、主体的に学習に取り組むことができるようにする。	
3 めざす児童の姿	学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考え、学習の見通しを立て、振り返ることができる子ども	
4 この単元でつけたキャリア教育としての力	(人生設計力：自己理解・自己管理能力) なりたい自分に向けてがんばる力	

5 本時の内容

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際(資料・記録)
導入	つかむ (1)事前アンケートの結果確認。 (2)本時の課題を確認する。 家庭学習を充実させるための具体的な取り組み方法を考えよう。	【社会を把握する能力】 ・アンケートの結果から、実態を捉える。	
展開	さぐる (3)良い家庭学習について考える。 ・家庭学習の意義を考える。 ・6年生のインタビュービデオを見る。 見つける (4)家庭学習への取り組み方法について話し合う。 (5)6年生へのインタビュービデオを見る。	【確かな学力・将来設計力】 ・家庭学習が将来につながることをおさえる。 【豊かな心】 ・他者の意見を聞き、考えを広げる。	・事前アンケートを確認し、実態を捉える
まとめ	決める (6)自分がこれから取り組むことを決める。	【確かな学力・将来設計力】 ・自分が取り組むことについて判断し、意思決定する。	・時間・環境・内容の3観点について、工夫した取り組み方法を話し合う。

6 キャリア教育の視点からの児童の変容と考察

実践後、家庭学習をこなすだけではなく、時間や内容などを工夫して取り組んでいる児童が多く見られた。しかし、まだ家庭学習に取り組めていない児童もいる。なぜ家庭学習をするのか、意義の部分についてさらに深めていく必要があると感じた。家庭学習を習慣付け、意欲的に取り組むことができるよう定期的に振り返りながら、継続させていくことが重要である。

実践例 3

1 学年	特別活動	単元名 「ほんのえらびかたをつたえあおう」
------	------	-----------------------

1 児童の実態	借りた本や学級文庫を積極的に読む児童が多く、本への関心が高いように感じられる。しかし、借りる本を自分で選べなかったり、選ぶのに悩んで時間がかかったりする様子も見られる。自分から進んで図書室へ本を借りに行く児童は限られていると言える。
2 本時のねらい	読書活動の良さを理解し、自分の読書活動を振り返ることで課題に気づき、自分に合った具体的な取り組み方法を話し合いの中から意思決定し、主体的に読書活動に取り組む態度を育てる。
3 めざす児童の姿	どのように借りる本を選べばよいのかを話し合う活動を通して、自分に合った選び方を意思決定して、自分から図書室に行き本を選び、主体的に読書活動に取り組む子ども
4 この単元でつけたいキャリア教育としての力	(人生設計力：自己理解・自己管理能力) 自分に合った本の選び方を考え、めあてにむかってがんばる力

5 本時の内容

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際(資料・記録)
導 入	つかむ (1)事前アンケートの結果確認。 (2)本時の課題を確認する。 ほんのえらびかたをつたえあおう。	【社会を把握する能力】 ・アンケートの結果から、実態を捉える。	・読書は好きだが、借りる本を選ぶのが難しいことで、進んで本を借りに行っていないという課題があることに気付かせる。 ・読書活動の良さに気付くことで、課題解決の必要感をもたせる。
展 開	さぐる (3)本を読むことの良さについて考える。 見つける (4)現在、借りている本を選んだ理由を伝え合う。 (5)みんながどのように本を選んでいるかを話し合う。	【確かな学力・将来設計力】 ・読書がより良い将来の学習につながることを押さえる。 【豊かな心】 ・他者の意見を聞き、考えを広げる。	・選んだ理由を話すことで、自分がどのように選んでいるのかを自覚させる。 ・選んだ理由を、話し合いを通して一般化する。
ま と め	決める (6)これからどのように本を選ぶのかを決める。	【確かな学力・将来設計力】 ・自分が取り組むことについて判断し、意思決定する。	・話し合ったことを生かして、自分に合った方法を意思決定し、早く決まった児童は本を選んでみる。

6 キャリア教育の視点からの児童の変容と考察

本時以降の本借りでは、今まで選ぶのに悩んでいた児童も友達におすすめの本を聞いたり、表紙や挿絵をよく見るようになったりと、自分の選んだ方法で借りることができた。また、今までは全体的に自分の好きなものに関する本を選んでだったが、本の選び方として「友達のおすすめ」を選択した児童が多く、児童は色々な本の種類があることに気付くことができた。そして、新たなお気に入りの本に出会えた児童が多かった。今後も、主体的に読書活動に取り組めるよう、学年の系統性をふまえた実践を行う必要性を感じた。

イ 本校の研究の概要

(ア) 研究主題

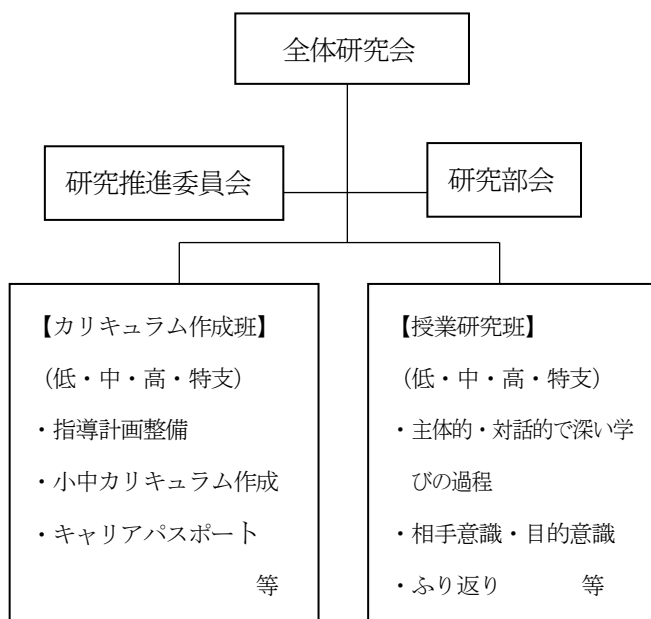
本校では、令和2年度から「自己の目標や夢の実現に向け、自ら考え・判断し・表現する子どもの育成—特別活動を要としたキャリア教育の学習を通して—」を2年計画の主題研究として位置付けた。

(イ) 研究の視点

キャリア教育が、教育活動全体で行われるものであることから研究の視点を以下の3つに定め、研究を推進した。

- 視点1 小中9年間で俯瞰したキャリア教育年間指導計画を作成し、計画的・系統的な指導ができるようにすること。
- 視点2 教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの学習過程を追及し、授業改善を行うこと。
- 視点3 夢や目標の実現に向けて、その願いや思いを実感させることができる教育環境を整えること。

(ウ) 研究組織



ウ 令和2年度の実践

<視点1>

◎年間指導計画の作成

キャリア教育の年間指導計画の作成に着手した。本校の児童の実態をふまえ重点を設定した。総合生活力からは「豊かな人間性」、人生設計力からは「勤労観・職業観」とし、2つの視点に沿って各教科の単元を洗い出した。その後、全体の系統性を見直した。

<視点2>

◎授業実践

○第4学年

特別の教科 道徳「神戸の復興は僕らの手で」
勤労、公共の価値のもと実践を行った。
アンケートによる導入で、自分達の働く様子について知らせ、課題意識を高めさせた。
ペアでの話し合い、グループで交流させることで、価値についての考えを深めさせることができた。

○第5学年

学級活動(3)「相手の言葉を受け入れる」
本校で初めて学級活動(3)の実践に取り組んだ。つかむ(アンケートの活用)→さぐる・見つける(グループによる学び合い)→きめる(自己決定)、の学習過程について共通理解を図ることができた。

○第1学年

学級活動(3)「言葉遣いについて考えよう」
アンケートによる導入を図り、課題を自分事として捉えることができた。アンケートの提示の仕方、自己決定のさせ方など低学年における学級活動の学習について学ぶことができた。

○第6学年 総合的な学習の時間

「夢を見つめよう、ドリームマップ作り」
単元の初めに、本校のスクールカウンセ

ラーをゲストティーチャーとして迎え、仕事の内容、仕事に就いた動機などの話を聞かせた。その後、自分の興味のある職業について調べ学習を行い、それをふまえてドリームマップ作りを行った。

<視点3>

◎教育環境

(1) キャリアパスポートの作成

盛岡市のキャリアパスポートのひな形や既存のカードを参考に、各学年に適しためあてカードや振り返りカードを作成することができた。活用していく上で、書かせる時期や内容等についての課題が見えた。

(2) たてわり班活動

本校のたてわり活動は1年生から6年生までが1～3人ずつ混じるように班を編制しており、全体で24の班で活動している。

主な活動は、遊び、あいさつ、清掃である。年度初め、たてわり始めの会を行い、各班の1年間の活動のめあてをたてた。

<たてわり遊び>

ねらい

異学年と行動を共にすることで、思いやりや尊敬の気持ちを持ち、よりよい人間関係を築く態度を養うこと。



年3回、火曜日の昼休みにたてわり班ごとの遊びを設定した。6年生が中心となって遊びを企画したり、活動をリードしたりして遊んだ。

遊びの当日には、高学年が大縄跳びの縄を低学年が飛びやすいように回したり、鬼ごっこで自分の班のメンバーを懸命に追いかけたりする低学年の様子がみられるなど、どの班も班のメンバーと交流を深めることができた。

<たてわりあいさつ>

ねらい

異学年と共に挨拶をする場を設け、挨拶を推進する活動をすることで他者を尊重する態度や思いやる気持ちを育て、よりよい人間関係を築く態度を養うこと。

各班が年に1回朝校門に立ち、挨拶運動を行った。校門に4つの班が並び登校してくる児童にむかって挨拶をすることができた。

<たてわり班清掃>

ねらい

異学年と共に清掃を行うことで、人や物への思いやりと感謝の気持ちを育て、よりよい人間関係を築く態度を養うこと。

清掃場所を、2週間でローテーションし、6年生を中心に清掃時の役割分担を決めて行っている。高学年が低学年に清掃の手本を見せたり、手順の指示を出したりすることで、協力して清掃を行うことができた。

たてわり活動は本校の大きな教育活動の一つとして位置付けられており、今後もキャリア教育の視点から活動の一層の充実を図りたい。

(3) ポスターコンクール

6年生 総合的な学習の時間「私たちにできること」の学習で、コロナ禍の学校生活の中で自分達にどんなことができるかについて考えた。



学習の後半、自分達にできることを全校にも広めるため、「手洗い・うがい・換気・マスク着用ポスターコンクール」を行った。

6年生の総合的な学習の時間の学習から発展して、全校児童が参加できる活動を行うことができた。

<成果と課題>

○キャリア教育の年間指導計画の作成に着手し、キャリア教育に関わる単元・活動を抽出することができた。

▲指導計画を見直し、加除修正を行っていくこと。

○学級活動（3）の実践に取り組み、学習過程などについて学ぶことができた。

▲視点を決めて授業実践を行い、主体的・対話的な学びを具現化していくこと。

○行事が少ない中でも、たてわり活動はキャリア教育の一つとして意義のある活動となった。

▲重点を設定してたてわり活動を行っていくこと。児童の活動の成果を可視化していくこと。

エ 令和3年度の実践

<視点1>

◎年間指導計画の見直し

昨年度作成した年間指導計画の見直しを行った。中学校区で書式を統一すると共に観点に沿って単元の見直しを行った。

<視点2>

◎5月 校内研究会

キャリア教育と道徳について

◎授業実践

○第6学年 特別の教科 道徳

「マザー・テレサ」 勤労・公共の精神

アンケートによる導入で、価値について課題意識を持たせることができた。主題に

関わる発問を重ねていくことで、主人公の生き方から自分達が考える社会についてできることを考えることができた。

○第3学年 学級活動（3）

「係活動を見直そう」

アンケート、テレビでの提示による導入をすることで本時の課題が自分たちのこととして捉えさせることができた。児童は係ごとの話し合いをふまえ、今後どのような活動をしていくか自己決定することができた。

○第2学年 特別の教科 道徳

「森のみんなで」 勤労・公共の精神

主人公の心の変容に着目させ、働くことについて考えを深めさせることができた。挿絵や発問を工夫することで、主人公の気持ちの変化について共感的に理解させることができた。

<視点3>

◎教育環境廊下掲示

キャリア教育に関わる児童の活動の様子を、児童にも見え



る形にするため、掲示コーナーを設けた。職員室前の掲示板を、キャリアに関わるコーナーとして設定し、写真を展示した。多くの児童が足を止めて自分達の写真を見ることができた。

<成果と課題>

○年間指導計画の整備を行うことで、学年の系統性、学習内容を明らかにすることができた。

▲指導計画を活用していくこと。

○道徳、学級活動をキャリア教育の視点で実践を行い、効果的な指導の在り方について学ぶことができた。

○キャリアパスポート、廊下掲示は児童に自分達の活動や成長を改めて見つめさせる一助となっている。

(3) 見前南中学校の実践

ア 授業実践 実践例 1

1 学年	社会科	単元名 世界の諸地域 アジア州
------	-----	-----------------

1 生徒の実態	社会科に関心をもち、重要語句の暗記など基礎的な知識を身に着けている生徒は多いが、資料から読み取った情報や自分の考えを言葉にして表現できる子は少ない。
2 単元のねらい	世界の諸地域の地域的特色を理解し、そこで起こっている課題について多面的・多角的に考察する。
3 めざす生徒の姿	諸資料から世界の諸地域の課題を読み取り、その解決に向けた方法を考察し、自分の言葉で表現する生徒。
4 この単元でつけたい キャリア教育としての 力	(総合生活力：問題発見解決能力・確かな学力) 資料から世界の諸地域に存在する諸課題を読み取ることができる力。 世界の諸課題の解決に向けた方法を考察し、表現することができる力。

5 単元の内容 (全6時間)

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際 (資料・記録)
導 入	① 現在の香港と30年前の香港の写真から、学習課題を提示する。	・2枚の写真の比較から課題を作らせることで、 総合生活力(問題発見解決能力) を高める。	
展 開	② 様々なグラフから東アジアはどのようにして経済発展をしたか読み取る。 ③ 読み取った情報と新たな資料から、どのような課題が起きているかを考察する。	・資料から読み取ったことを書かせ、また、自分の言葉で表現させることで、 総合生活力(確かな学力) を高める。	
ま と め	④ チェックとトライに取り組む。 ⑤ 本時の課題に対するまとめを行う。	・今日の学習を振り返り、自分の言葉で学習課題に対するまとめを記入させることで、 総合生活力(問題発見解決能力) を高める。	・穴埋め形式の読み取りについては多くの生徒ができていたが、自分の言葉で表現できる生徒は少なかった。

6 キャリア教育の視点からの児童の変容と考察

自分の言葉で表現できる生徒は多くなかったが、課題を立て、見通しをもつことで本時の学習内容を意識しながら取り組むことができていた。

実践例 2

2 学年	総合的な学習の時間	単元名 SDGs を通して未来を考えよう
1 生徒の実態	現代社会の抱える諸問題について知っていることもあるが、自分の将来とのかかわりを考えるにはいたっていない様子が見られる。	
2 単元のねらい	社会（世界）の諸問題を知るとともに、将来に向けての生き方を考えさせる。	
3 めざす生徒の姿	広く社会（世界）の状況を知り、多様性への理解を深め、自らの生き方を考え実践しようとする生徒	
4 この単元でつきたい キャリア教育としての力	（人生設計力：社会を把握する能力・将来設計力） 調べ学習や発表を通して、現代社会の諸問題に目を向けさせ、また、考えを深める中で、自らの生き方そのものへの考えを深めさせたい。	

5 単元の内容（8／全10時間）

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際（資料・記録）
導 入	・前時の振り返り グループでPCを使用した調べ作業について確認。 ・学習目標の確認 次回の発表会に向けて、まとめ作業と発表練習をしよう。	・SDGsを調べることで、人生設計力の社会を把握する力を高める。 (学級を12グループに分け、PCを活用した調べ学習)	
展 開	・各自が調べたことをグループで、スライドにまとめる。 ・発表の原稿を作り、分担をする。 ・発表の練習をする。	・ICT機器の活用により、学級12グループが、それぞれにSDGsの内容を調べることで、人生設計力情報活用能力を高める。 ・グループで発表をするための原稿や資料を作ることで、コミュニケーション能力を高めるとともに、確かな学力を高める。	
ま と め	・授業の振り返り ・次時の確認	・本時のまとめをし、発表会に向けて準備をする。	

関連：「緑のサヘル」講演会感想

「生きていることはとても素晴らしいこと。生きているだけで十分なこと。そんな、生きるために一生懸命な人になりたいし、自他の命を大切にしたい。」

「アフリカの国の暮らしだけでなく、どのような対策をすれば貧しい暮らしを少しでも減らせるか、SDGsにもつながることが学べたのでよかったです。」

6 キャリア教育の視点からの生徒の変容と考察

SDGsという、広く社会に関わる諸問題について調べていく様子は、大変真剣だった。また、PC等の機材が授業で活用でき、今回の調べ学習でも、調べるところから、まとめ、発表まで活用することで、情報活用能力だけでなく、PC操作自体の力（確かな学力）にもつながっていると思われる。現時点では、発表前であるので、発表会やまとめの学習において、生徒のより深い学びを支援していく。

実践例 3

3 学年	道徳	単元名 生命の尊さ 教材名 忘れられないご馳走
1 生徒の実態	与えられている衣食住について、何の疑問ももたずに当たり前のこととして受け入れている。実際、給食の残食はほとんどないが、好きなものだけたくさん食べるという生徒も少なくない。	
2 単元のねらい	「他の生命をいただく」とはどのようなことかについて考えることを通して、生きとし生けるものの生命の尊さに気付き、生命は他の生命によって生かされていることに感謝する心情を育てる。	
3 めざす生徒の姿	「他の生命をいただくこと」で自分自身が生かされているという感謝の心情に気付き、自分の視野を広げていく生徒。	
4 この単元でつけたいキャリア教育としての力	(総合生活力：豊かな人間性) 教材の学習を通して、共生を大切にしたい「よりよい」生き方を育む。これまでの生活を見直し、今後の自分の生き方を考える。	

5 単元の内容（全1時間）

	学習活動	【キャリア教育の視点】と手立て	指導の実際（資料・記録）
導 入	1 沖縄県多良間島のヤギの様子を見て、学習課題を確認する。	・生徒の興味を引く教材を扱うことで、主体的に取り組む姿勢を持たせる。	 生徒の感想 「僕たち人間は、いろんな動物や植物などに生かされていることを改めて痛感した。限りある生命はすべてつながっている。だからこそ無駄にしたいはいけない。これまでも挨拶はしていたが、今まで以上に心を込めていただきますを言っていきたい。(男子生徒)」 「自分がこれまで食事で『いただいた』命は、ジョセフィーヌのように生きていた大切な命であることがわかった。多くの命に支えられ、自分は生きていいることを感じた。(女子生徒)」
展 開	2 本文を読み、登場人物について読み取り、関係やそれぞれの考え方を整理する。 3 主人公の思いを読み取り、小グループで交流し、ホワイトボードを使い発表する。	・人物の設定について学び、読むことの力を高める。 ・主人公の心の変容を読み取り、自分なりに深めながら考えていくことで、 総合生活力（豊かな人間性） を高める。	
ま と め	4 自己を見つめる。「命をいただくこと」について、今後の自分について考え、発表する。	・生き方について、人物と自分を比較しながら考えていくことで、自分の考えを深め、仲間と交流することで 人生設計力（将来設計力） を深めていく。	

6 キャリア教育の視点からの生徒の変容と考察

授業の実践を通して、最終のまとめの感想では、次の2点がより深まったと考えられる。 ①生命は受け継がれており、生きるということは様々な生命の連続性があること。 ②限りがあるからこそ、生命はかけがえのないもので大切にすべきであること。 仲間と意見を交流することで、生命の尊さについて改めて考え直し、これからの自分の生き方について思いを巡らせ、学びをより深めることができたと思われる。

イ 年間指導計画の作成

各教科や道徳・特活・総合等の学習内容を、キャリア教育の視点で見直すために、小中9年間の全体計画とともに各学年の年間指導計画の作成を行った。令和2年度は、教科を縦軸に、月を横軸にし、6つの資質能力に色分けしたものを作成し、今年度は、小中共通の様式で、資質能力を縦軸に、月を横軸に改訂した。総合生活力が比較的多くの機会に授業実践されているのに対して、人生設計力の育成は、特活や総合、行事での育成が多いことが分かり、見通しや振り返りの重要性を再認識できた。

ウ キャリア教育(キャリア・カウンセリング)研修会の実施

令和3年2月に指導主事を講師に招き、キャリア教育の概論の校内研修会を行い、全職員でキャリア教育についての研修を深めた。また、令和3年4月の校内研究会では、新職員を迎え、改めて、全職員で岩手県のキャリア教育に関する指針について、「いわてキャリア教育指針」をもとに、学習会を行った。

エ 総合的な学習の時間における各種講演会や体験活動の実施

(ア) 1学年の例

1学年は、先人学習の中で、「先人の生き方」を学ぶ部分等をキャリア教育に位置付け、「盛岡の先人」の読書や調べ学習、盛岡の各種施設等での見学、まとめとしての新聞づくりを行った。

(イ) 2学年の例

2学年は、例年、職場体験学習を行っているが、昨年度、今年度は、コロナ禍のた

め実施できなかった。そこで、特定非営利活動法人「未来図書館」に依頼し、複数の社会人・職業人とグループで交流する場を設けた。



(ウ) 3学年の例

3学年は、復興学習における岩手の現状を知り、将来を考えること等をキャリア教育に位置付け、沿岸被災地での体験学習を行った。コロナ禍での実施は、制約も多いが、現地での体験は、多くの生徒に共感を与え、学ぶ意欲も高まったように思われる。

オ 学校種間の連携

(ア) 共通のアンケート実施

令和元年度・令和2年度の3学期に、小中共通内容のアンケートを実施し、各学年の児童生徒の実態とその変移を分析した。また、その間の諸検査の質問紙・Q U調査の進路項目等も合わせて分析することで、より児童生徒の実態を知る手立てとした。(今年度のアンケートも3学期に実施予定)

(イ) 三校合同研究会の実施

市教研ブロック研として毎年開催しているが、互いの授業から学ぶことは多い。昨年度と今年度は、指導案にキャリアのどの資質能力をどの場面に位置付けるか等を明記し、参観者も教科の授業の観点の他に、キャリア教育の視点で参観した。また、合

わせて、教務・研究担当による会議を持ち、研究の進捗状況を確認めたり、方針を確認したりすることを行った。

6月 永井小学校にて特活と算数

7月 見前南小学校にて特活と道徳

9月 見前南中学校にて道徳と社会

(ウ) 小中交流活動

○小中合唱交流会

今年度は合唱練習がままならない状況から中止したが、例年行っている。昨年度も規模縮小やマスクの着用等の対策の上で実施した。3学期の新入生一日体験と合わせ、小学生が中学生や中学校を知る機会となっている。



○小中あいさつ運動

コロナ禍により回数は限られたが、小学校と中学校のリーダーたちが中心となって月初めに挨拶運動を行った。

(エ) キャリアパスポートの活用

示された様式をもとに、各校で実施している。生徒の記述だけでなく、学年やその内容によって、教師や保護者の記述欄を設けた。現1学年は、小学校から持ち上がったファイルで継続している。

カ 成果と課題

(ア) 成果

令和3年度岩手県学調質問紙(2学年)からあなたは、将来の夢や目標をもっていますか。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う
本校	41% (34%)	31% (45%)
県	42% (39%)	31% (44%)

友だちと話し合うとき、自分の考えを相手にきちんと伝えながら、少数の意見にも耳を傾け、意見をまとめていると思いますか。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う
本校	45% (13%)	50% (30%)
県	40% (15%)	49% (36%)

() は令和2年度

・研究のきっかけともなった岩手県学習定着度状況調査生徒質問紙調査で落ち込みが見られた2項目は、上記のようになった。小中共通のアンケートやQ U等でも同様の傾向が見られる。大幅な改善ではないが、この積み重ねが大事だと考えている。

・互いの授業から学ぶ機会が生かされている。小中合同研究はもちろん、見前南中学校では、道徳十八番授業として、互いの道徳授業を参観し合い、各教科においても教科内研究も行われた。キャリア教育の視点で授業を参観することで授業改善に資するものとなった。

(イ) 課題

・各種調査における項目で、低い数値が出ているものは、引き続き、実践を積み重ねていく必要がある。

・出前講座等、研修の機会を増やし、教師自身のスキルをさらに高めていく。校内研究の在り方を見直す必要がある。

Ⅶ 研究の成果と課題

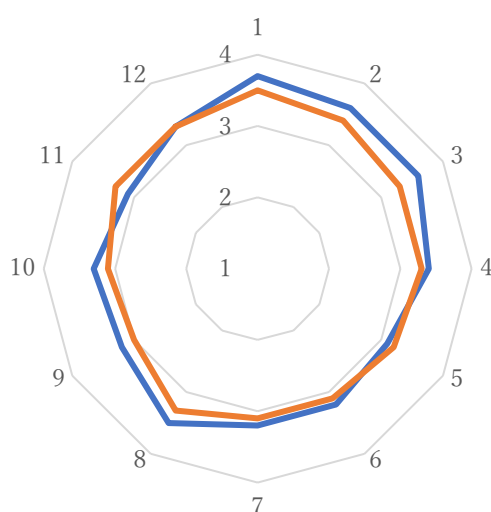
1 成果

キャリアアンケート比較

(現 中学2年生)

質問項目は11ページ参照

— R2 中1 — R1 小6



・ 諸調査やアンケートの結果から、児童生徒のキャリアに関する意識が高まり、望ましい方向へと着実に成長している様子が見られた。

・ 3校それぞれのよさを残しながら、小中9年間の全体計画や共通様式の年間指導計画の作成と吟味ができ、教育課程をキャリア教育の視点で見直すことができた。あわせて、小中間の交流が深まった。

・ 研究を通じて、改めて各教科の授業実践や授業改善がなされた。授業の中で、「数値化できない学力」について、どのようなものがあるか、授業者がねらいを明確にもつことができた。

2 課題

・ 将来設計力に関わる実践と分析や検証は、今後も引き続き必要である。活動だけがあって、その学びが自分の将来にどうつながっているのかを児童生徒が実感していない様子がやや見られる。

・ コロナ禍という特殊な状態の中、活動が制限された。特に日常的に「対話」や「交流」の場面が減っている。また小中交流の行事、体験学習等も縮小や中止を余儀なくされた。ディスタンスを保つこと等に有効なICTの活用など、今後、更に研究や実践を積み重ねていく。

・ 自己肯定感等、質問紙調査等の結果を見ても、まだ低い項目が見られる。キャリア教育の視点を取り入れつつも、本来学校が教育活動全体で育てていくものを大事にしていきたい。

参考文献

- ・ 学習指導要領解説（総則および各教科）
- ・ 例示資料「キャリアパスポート」文部科学省
- ・ キャリア教育の手引き 文部科学省
- ・ いわてキャリア教育指針～キャリア教育の推進・充実に向けて～【改訂版】 岩手県教育委員会
- ・ キャリア教育の推進～自立して未来に挑戦する ひょうごっ子！～ 兵庫県教育委員会
- ・ 令和元年度「小中学校におけるキャリア教育に関する実践研究―見前中学校区」盛岡市教育研究所
- ・ 令和2年度「小中学校におけるキャリア教育に関する実践研究―波民中学校区」盛岡市教育研究所